

4

H26今後の活動予定【(2)地域資源の発見・創造・育成】

5) 農と環境の情報ホームページ作成

麻生区のHPの農と環境に関する掲載情報の充実

掲載時期：9月中にアップ予定

掲載内容：今までの取組み内容及び今後のイベント掲載



現在位置： [トップページ](#) [くらしのガイド](#) [魅力ある区づくり](#) [農と環境を活かしたまちづくり](#) [農と環境を活かしたまちづくり](#)
[農と環境を活かしたまちづくりの推進](#)

農と環境を活かしたまちづくりの推進



麻生区は、早野・黒川・岡上地区に農業振興地域があり、川崎市内で最も農業が盛んな地域です。都市部に住みながら、少し足を延ばせば豊かな緑や田園風景に出会える、こうした自然と人が共同していとなむ豊かな環境を大切にしたい。地域の農業従事者や関係機関などと連携しながら、農と環境を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

このページでは、農と環境に関するイベント、区が取り組む事業・プロジェクト、グリーンツーリズム、直売所情報など、皆さんが農の魅力を知り体感してもらえるよう、情報を発信していきます。



取組み内容の発信



5

まとめと今後に向けて

| 方針 | 事業名 | 課題 | 今後の対応 |
|--------------------------|-------------------------|---|--|
| (1) 農と里山の 体感 | 1)バस्तツアー | ○ツアーコースの発信等、参加できない人への情報発信強化、他イベントと連携 | 見学地の資源マップの作成 類似イベントとの協働実施 |
| | 2)食農イベント ①ダンボールコンポスト | ○参加意欲のある人への知識啓発するため、HPでのマニュアルやQA発信 | 作業マニュアルとQA取りまとめ |
| | ②親子エコクッキング | ○レシピやゴミ減量に関する情報をHPから発信するとともに、他イベントとの連携を検討 | 他クッキング講習と協働で対象者を絞った講座の実施 |
| | ③明治大学黒川農場と グリーンツーリズム | ○実施時期の選択と他イベントとの連携を検討 | 実施時期をデザイン祭実施期間とし、他事業と連携 |
| | 3)農業体験 ①食農体験イベント | 未実施のため実施後検証 | |
| (2) 地域資源の 発見・創造・育成 | 4)ウォーキングマップ作成支援 | 未実施のため実施後検証 | |
| | 5)農と環境の情報ホームページ作成 | 未実施のため実施後検証 | 市HPのみではなく、Twitter等を活用し情報発信を積極的に実施 |
| (3) 地域・大学の協働 | 6)菜の花プロジェクト | ○菜花圃場と作業場の確保 ○作業内容の見える化 | 播種から搾油までの作業マニュアル作成 黒川農場と連携し菜の花圃場の拡充 |
| | 7)スイーツレシピづくり | ○地場野菜の認知促進 ○菜種油を活用した商品開発 | 店舗と協働し、菜種油と地場野菜を活用した商品開発 |

6

今年度及び次年度の活動(案)

| 方針 | 今年度の取組み | 次年度に向けて | 次年度の取組み |
|----------------------|------------------------|---------|---------------------|
| (1) 農と里山の体感 | 1)バスツアー | 終了 | J Aと連携したツアーの検討 |
| | 2)食農イベント | - | - |
| | ①ダンボールコンポスト講習会 | 継続 | H26と同様 |
| | ②親子エコクッキング | 継続 | H26と同様 |
| | ③黒川農場とグリーンツーリズム | 継続 | H26と同様 |
| | 3)農業体験 | - | - |
| (2) 地域資源の発見・創造・育成 | 4)ウォーキングマップの作成支援 | 継続 | ・散策マップの紹介・活用 |
| | 5)農と環境の情報ホームページ作成 | 継続 | ・コンテンツの充実 |
| (3) 地域・大学の協働 | 6)スイーツレシピづくり | 拡充 | ・多様なレシピづくり |
| | 7)菜の花プロジェクト | 拡充 | ・圃場の拡大、作業場の確保等による拡充 |
| | 8) (仮称)コミュニティ農園ワークショップ | 継続 | ・コミュニティ農園の活用検討 |
| | 9)収穫祭連携イベント | - | - |
| | ①さつまいも掘取り体験 | 継続 | H26と同様 |
| | ②禅寺丸柿800周年関連イベント | 終了 | - |
| | ③昭和音大コンサート | 継続 | H26と同様 |

(仮称)黒川デザイン祭(プレ)

収穫祭との連携



2

実施事項（案）

(1) スライドショー・パネル展示

1) パネル展示

① 今年度の活動紹介

- 写真を使用して紹介する。

食農イベント

○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○



グリーンツーリズム

○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○



スイーツレシピづくり

○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○



② 基本計画の紹介

- 平成28年度以降の本格活動に向けた基本計画について紹介。

基本目標

地域で守り育てる身近な農と環境
～地域の農業資源・環境資源・人的資源を活用した
地域の活性化や地域交流の推進～



農産物等の地産地消
(農産物等研究専門部会)



農と里山体感・地域交流
(地域活性化検討専門部会)

地域・大学・区民・行政等が
一緒になって取り組んでいく！



里山の保全と活用
(里地・山保全活用専門部会)

実施方針

地域・大学・区民・行政等の協働により下記の方針を推進

地元農産物の販売促進
と加工品の開発

農や里地里山を体感する
イベントの実施・PR

里山の管理や活用の推進

農産物等研究専門部会

農産物、林産物及び加工品の
栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化に
つながる農産物等の調査・研
究を行う。

①新規農産物や加工品の開
発検討
②農産物のイベント活用や
PRの推進
③大学連携・地域コミュニ
ティづくり

地域活性化検討専門部会

農や緑、環境を通じた地域の
活性化や地産地消の推進につ
ながるイベント等の実施や必
要な施設等の検討を行う。

①農と里山の体感
②地域資源の発見・創
造・育成
③地域・大学・行政との
協働

里地里山保全活用専門部会

多摩丘陵の里地里山の地域
的価値を見出し、里地里山の
保全、再生、活用を目指す。

①里地里山の認知促進
②里地里山保全管理体験の
推進
③里地里山を活用した大学
連携・地域コミュニティ
づくり

1

実施概要(案)

■取組みの目的(3部会共通事項)

黒川地区の農と環境を活かしたまちづくりの認知促進を主眼に、次の取組みを行う。

- (1) 各部会の活動の成果発表
- (2) 大学及び地域連携イベント等の実施
- (3) アンケート調査の実施(ニーズの把握等)

■地域活性化専門部会の実施概要(案)

| 項目 | 概要 |
|------------------------|--|
| (1)スライドショー・パネル 展示 | ・今年度の活動紹介 ・農と環境を活かしたまちづくり基本計画・実施方針を紹介(3部会共通) |
| (2)さつまいも掘り取り体験 | 黒川東地区におけるさつまいも掘り取り体験 |
| (3)禅寺丸柿800周年関 連イベント | 禅寺丸柿の800周年を記念してのPRイベントの開催 |
| (4)昭和大学コンサート | 昭和音楽大学の協力によるサクソ四重奏の演奏会 |
| (5)スイーツレシピお披露 目+試食会 | 今までの活動の成果発表としてスイーツレシピのお披露目と、来場者向けに黒川野菜を使ったドーナツの試食会 |
| (6)アンケート調査 | 市民ニーズを把握するためアンケート調査の実施(事務局) |

2

実施事項（案）

2) スライドショー（既存PPT+ナレーション）

①今年度の部会活動紹介

- 写真を使用して紹介する。



②基本計画・実施方針の紹介

- 平成28年度以降の本格活動に向けた基本計画の紹介。



2

実施事項（案）

(2) さつまいも掘り取り体験「農家との協働」

目的：農家の方の協力を得て、黒川東地区にて掘り取り体験を実施。掘り取りを通じて、黒川地域の農の魅力を感じてもらうとともに、終了後収穫祭への参加を促す。

時間：午前中（時間未定）

場所：黒川東農園

対象：小学生を持つ区内の親子 30組

参加費：600円

内容：黒川駅からさつまいも農園の園主の説明を聴きながら、歩いて農園へ移動。さつまいもの掘り取りを行った後は、黒川駅に戻り、明治大学黒川農場の収穫祭へ案内する。（駅から大学へ臨時バスあり）

農と里山の体感



掘り取りメーじ



掘り取りメーじ

2

実施事項（案）

(3) 禅寺丸柿800周年関連イベント
「大学連携」

目的：発見から800周年を迎えた麻生区の区の木「禅寺丸柿」の周知を図るため、禅寺丸柿キャラクター「かきまるくん」の着ぐるみ登場や禅寺丸柿の配布等を行う。

時間：未定

場所：広場

内容：かきまるくんによる禅寺丸柿のPR

写真撮影コーナーの設置

禅寺丸柿の配布、情報掲示等



禅寺丸柿



禅寺丸柿イベントイメージ

2

実施事項（案）

(4) 昭和音楽大学のコンサート「大学連携」

目的：明治大学黒川農場と同じく、麻生区に立地する昭和音楽大学と連携し、サクソス四重奏コンサートを開催する。

時間：12:30～13:00、14:30～15:00

開催場所：本館 ○○

内容：昭和音楽大学の協力によるサクソス四重奏（ソプラノ、アルト、テナー）の演奏会。



昨年度の様子

(5) 麻生（黒川）産野菜を用いたスイーツのお披露目及び試食会「大学・市民団体連携」

目的：今までの活動の成果発表として、来場者に対してドーナツスイーツの試食会を行い、菜の花プロジェクト及び明治大学と連携した取組み活動をPRする。

時間：未定

場所：未定

内容：麻生区産の菜種油と地元野菜を使ったドーナツを作り、来場者に対して試食会を行う。



イメージ

3

実施事項（案）

(6) アンケート調査の実施（市民ニーズ等の把握）

”農と環境を活かしたまちづくり”の推進を図ることを目指し、今後の検討に向けた市民の皆様のニーズ等を把握するためのアンケート調査を、本部会が事務局となって実施。アンケートの回答については、今後まちづくり及び次年度の取組み内容の参考としていく。

アンケート内容

- 黒川地域への主な来訪目的
- 明治大学収穫祭について
- 農と環境を活かしたまちづくりの取組みについて
 - ・ 農産物等研究専門部会について
 - ・ 地域活性化検討専門部会について
 - ・ 里地里山保全利活用専門部会について
 - ・ 黒川里地里山デザイン祭の実施内容

第3編

黒川地域の農と環境を活かしたまちづくりに関する調査

麻生区役所では、“農と環境を活かしたまちづくり”の推進を図ることを考えております。そこで今後の検討に向けた市民の皆様へのニーズ等を把握するためのアンケート調査を実施しております。
アンケートの回答については、今後、まちづくりの参考とさせていただきますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

ご記入にあたってのお願い

■ 回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されますので、日頃お感じになることを率直に回答ください。

■ 回答方法は、あてはまる項目の番号に○印をつけていただくものと、文章をご記入いただくものがあります。
質問文中に(○は1つ)(○はいくつでも)といった注釈をつけてありますので、質問文をよくお読みになってからご記入ください。

■ ご記入は、1ページ目から順番にお願いします。

■ この調査票に書かれた回答は、本調査の目的以外には活用することはありません。

川崎市 麻生区役所



昨年度の様子

農と環境を活かしたまちづくり
黒川地区基本計画(案)
(3部会共通資料)



「農と環境を活かしたまちづくり黒川地区基本計画」とは

黒川地区では、「農産物等研究専門部会」「地域活性化検討専門部会」「里地里山保全利活用専門部会」の3つの部会により、平成28年より具体的な農と環境を活かしたまちづくりを進める予定である。

そのため、平成26年度では、平成28年度からの本格実施に向け、農と環境を活かしたまちづくりの方向性、道筋、具体的な取り組み等について、基本計画としてとりまとめるものである。

平成27年度には、具体的な実施計画を作成し、本格的な活動につなげていく。

基本計画及び実施計画の作成にあたっては、様々な取り組みを具体的に試行し、評価を行いつつ、実施の取り組みを見定め、計画にまとめていく。

また、本まちづくりの中で、各部会での個々の取り組み課題を総合的解決につなげ、黒川地区の「地域-人-資源」をつなぎ、一体的な活動の起爆剤となる「デザイン祭(仮)」を開催する。



1 背景

農が抱える課題

- 都市農地の再評価と保全策への対応
- 農家・農業後継者の減少
- 既存の農業経営から高齢社会を見据えた都市農業経営への転換
- 「農」に対する全市的な合意形成

解決の方向性

- かわさき「農」の新生プランにおける推進体制の確立

緑が抱える課題

- 黒川地域を含む多摩丘陵の自然環境の保全にむけ、農業施策と緑地保全施策の連携の必要性
- 生物多様性の保全や環境学習の確保等の観点から里地里山環境の保全と「農ある風景」の継承

解決の方向性

- 市民協働による地域ぐるみの緑地保全活動の推進

地域が抱える課題

- 第1期区民会議の議論
区特性である「農」を通じた、「地域づくり」への活かし方
- 第3期区民会議の議論
市域の緑が43%集積する区の緑の維持管理の仕方及び市民ボランティアなどの力の活用方策

解決の方向性

- 区の資源である農と緑を活かしたまちづくりの推進

地域・関係者間での課題解決への施策検討・計画及び試行実施



黒川地域での変化（地域資源の創出）

- 平成20年に大型農産物直売所「セレサモス」の開所
- 平成24年に明治大学黒川農場の開場

黒川地域連携協議会：平成21年設置（平成25年度改訂）

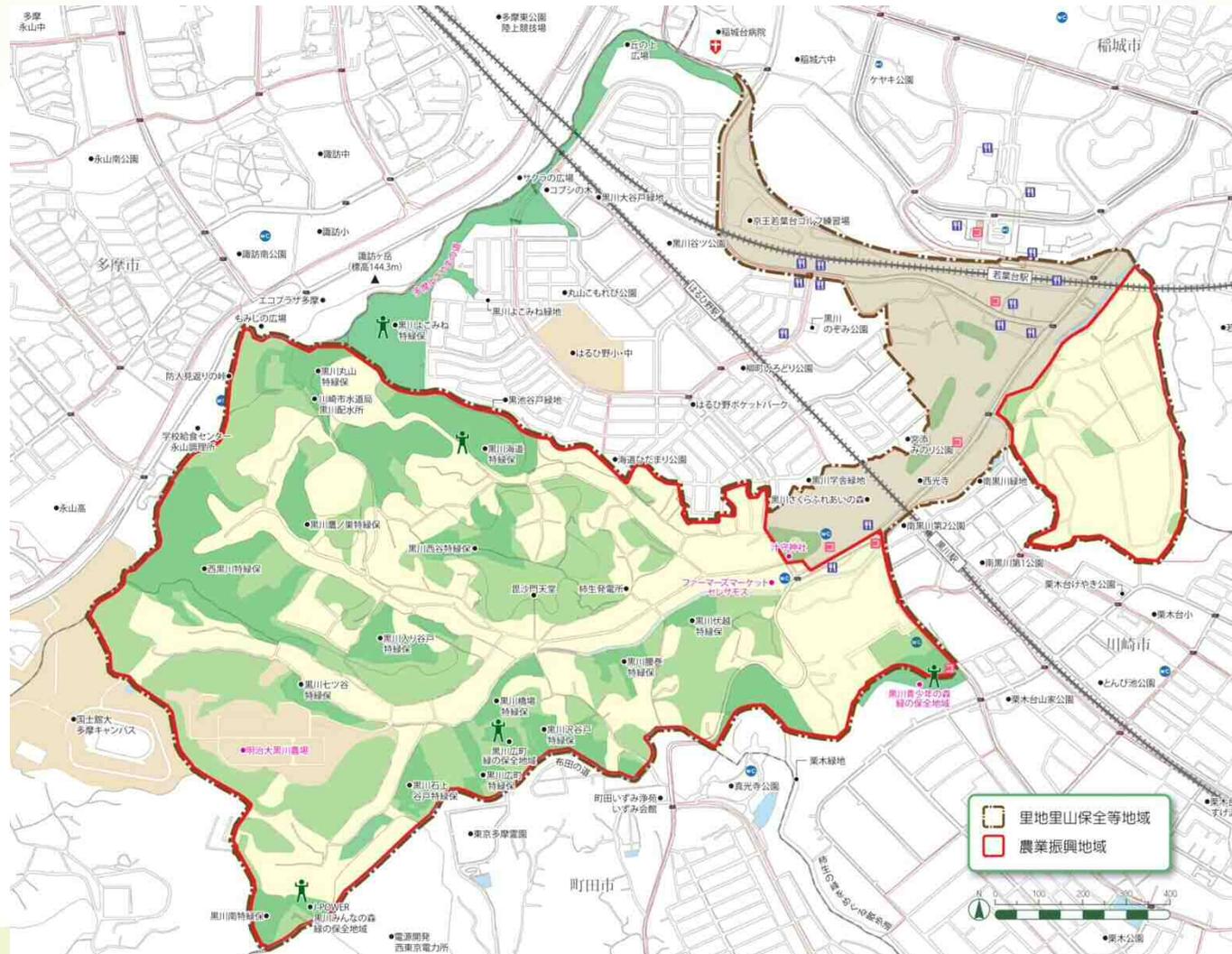
目的：明治大学と川崎市が「農業研究・実験機能」、「山林の保全と活用機能」及び「農業体験・交流機能」における連携を通じた地域づくりの推進。

組織：具体的活動の推進するため「農産物等研究専門部会」「地域活性化検討専門部会」「里地里山保全利活用専門部会」の3つの部会を立ち上げ、相互連携を図りながらテーマに沿った活動を行う。

2

対象地

下記の農業振興地域を中心に、里地里山保全等地域を対象とする。



3

基本目標と基本方向

基本目標

地域で守り育てる身近な農と環境

～地域の農業資源・環境資源・人的資源を活用した
地域の活性化や地域交流の推進～

基本方向



4

実施方針

実施方針

地域・大学・区民・行政等の協働により下記の方針を推進

地元農産物の販売促進
と加工品の開発

農や里地里山を体感する
イベントの実施

里山の管理や活用の推進

実施体制と役割

農産物等研究専門部会

農畜産物、林産物及び加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。

- ①新規農産物や加工品の開発検討
- ②農産物のイベント活用やPRの推進
- ③大学連携・地域コミュニティづくり

地域活性化検討専門部会

農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。

- ①農と里山の体感
- ②地域資源の発見・創造・育成
- ③地域・大学・行政との協働

里地里山保全利活用専門部会

多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、里地里山の保全、再生、活用を目指す。

- ①里地里山の認知促進
- ②里地里山保全管理体験の推進
- ③里地里山を活用した大学連携・地域コミュニティづくり